

平成 25 年 8 月 8 日

各 位

会社名 モーニングスター株式会社
 (コード番号 4765)
 (上場取引所 東京証券取引所 JASDAQ)
 代表者 代表取締役社長 朝倉 智也
 開示責任者 取締役管理部長 小川 和久

「Gomez 投信運用会社サイトランキング 2013」の発表について ～みずほ投信投資顧問が初の栄冠を獲得！～

中立的な第三者としての立場から E コマースや各種ウェブサイトの客観的な評価・比較を行うモーニングスター株式会社（以下、当社）は、「Gomez 投信運用会社サイトランキング 2013」を Gomez のウェブサイト (<http://www.gomez.co.jp/>) で発表しました。

このランキングは、投資家や販売会社関係者等に情報を提供するために投資信託運用会社が運営するウェブサイトのユーザビリティを評価することを目的としており、今回で 3 回目の発表となります。

各社が運用する各ファンドの特色や投資方針、定期的・臨時的な運用経過報告などの情報を的確にユーザーに伝えるために必要となる使いやすさや各種機能を、ユーザーの視点にもとづいて設計された 88 の調査項目により当社のアナリストが評価を行い、総合的に優れた投信運用会社サイトのランキングを決定します。

2013 年版ランキングにおける上位 10 サイトは、以下のとおりとなりました。

順位	得点	会社名	前回 (※)
1 位	7.85	みずほ投信投資顧問	2 位
2 位	7.77	大和証券投資信託委託	2 位
2 位	7.77	三菱UFJ 投信	1 位
4 位	7.62	国際投信投資顧問	16 位
5 位	7.51	ニッセイアセットマネジメント	4 位
6 位	7.50	三井住友トラスト・アセットマネジメント	5 位
7 位	7.23	三井住友アセットマネジメント	6 位
8 位	6.87	野村アセットマネジメント	13 位
9 位	6.85	大和住銀投信投資顧問	7 位
10 位	6.60	日興アセットマネジメント	8 位

※ 前回は 2012 年 7 月 25 日発表

【上位企業の特徴】

「投信運用会社サイトランキング 2013」第 1 位は「みずほ投信投資顧問」となりました。部分的な改善を経て、前回第 2 位から評価を上昇させました。ファンド一覧ページから個別ファンドページに至るすべてのページが見やすく、読みやすい構成となっていて、得てして狭いスペースにさまざまな情報が乱舞しがちな投信運用会社サイトが多い中で、理想的な情報整理が実現されています。機能的なサイト内検索、お気に入り登録、スマートフォン最適化サイトなど、総じて利便性の高いウェブサイトを作り上げています。

第 2 位は「大和証券投資信託委託」となりました。充実したファンド情報のみならず、販売会社向け情報配信機能など、幅広いステークホルダーを見据えたサイト戦略がとられています。スマートフォン対応なども行われ、評価を向上させています。

そして同点の第2位は「三菱UFJ投信」となりました。さまざまなファンド情報やマーケット情報の提供、メール配信やシミュレーションをはじめとした多彩な機能をもつウェブサイトであり、引き続き高い評価水準を維持しています。

【全体的な傾向】

今回のノミネートサイト総数は58サイトであり、そのうち、前回調査から今回調査までの間にリニューアルされた投信運用会社サイトは7サイトありました。さらに部分的に改善を施したサイトも複数あり、改善トレンドは続いています。具体的には、今回第4位にランクインした国際投信投資顧問（前回16位）、第11位の損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント（前回41位）を筆頭に、野村アセットマネジメント、アライアンス・バーンスタインなどがサイト評価を向上させています。

【調査概要】

- ・ 調査期間：2013年7月25日～7月31日まで
 （※ ランキングデータは、2013年7月31日までのものを反映）
- ・ 調査対象：以下のノミネート基準を満たす58サイト
 - (1) 投信協会正会員であること（直販系投信運用会社は除外）
 - (2) 自社ドメインのWebサイト（日本語）を公開していること
 - (3) 自社サイト（日本語）においてファンドの基準価額等を公表していること
 - (4) 自社サイト公開後1年以上を経過していること など

【評価方法】

本調査では、以下の5つの視点から設定された88の調査項目を基に当社のアナリストが評価を行います。

カテゴリ名称	評価内容
ナビゲーションと情報構造	ユーザーが効率的にサイト内を回遊できるかどうかを評価する項目群です。トップページからの動線、グローバルナビゲーションやローカルナビゲーションなどの配列・メニュー構造・ラベリングなどが評価の対象となります。
ファンド情報の見やすさ・使いやすさ	投信運用会社サイトの主要コンテンツページの見やすさと使いやすさを評価する項目群です。個別ファンド情報ページの掲載情報と構成、関連情報の活用方法、PDFをはじめとしたプラグインの取り扱いなどが評価の対象となります。
デザインとアクセシビリティ	主にWebアクセシビリティへの対応を評価する項目群です。テキストリンクや文字サイズ、色彩のコントラスト、HTML構文などが調査の対象となります。
安定性と信頼感	Webサイトの表示速度・稼働率（安定性）、ユーザーがWebサイトを利用するうえでの安心を得るための取り組み（信頼感）を評価する項目群です。後者は、会社情報、カスタマーサポート、各種方針の開示などが調査の対象となります。
機能性・先進性	新着情報配信やメール、ソーシャルメディアなどを活用した情報発信、用語集によるユーザー補助、そしてNISAのような最新動向・制度解説への対応などが調査の対象となります。

以上

本件に関するお問い合わせ

モーニングスター株式会社：<http://www.morningstar.co.jp/> Gómez・コンサルティング事業部

電話：03 (6229) 0810 ファクシミリ：03-3589-7963 メール：gomez-info@morningstar.co.jp